

三重県の子どもたち、大人たちへ

三重県は、平成23年4月に「三重県子ども条例」を施行しました。

「みえの子ども白書」は、この条例に基づく取り組みの一環として、県民の皆さんへのアンケート調査を中心にまとめたものです。

私は、子どもが自分らしくいきいきと育つためには、子ども自身が自分を大切な存在だと信じていることができる「自己肯定感」が何よりも大切であると思っています。

今回の調査によって、周りの大人のかかわり方が子どもの自己肯定感に大きく影響することが見えてきました。

子どもには多くの可能性があります。その可能性を信じ、引き出していくことが、私たち大人の大切な役割です。

そして、子どもたちには、みんなの幸せを願って、何かしたいと思っている大人が本当にたくさんいることを知ってほしいと思います。

この白書を通じて、県民の皆さんとともに子どもが豊かに育つための三重県づくりに向けた新たな一歩を踏み出せればと願っています。

平成24年3月

三重県知事 鈴木 英敬